

岩手・宮城県際ネットワーク

－ 令和元年8月1日発行 － （担当公所：宮城県 気仙沼地方振興事務所）（第160号）

●編集・発行 地域づくり団体ネットワーク岩手・宮城県際交流会事務局

岩手県	県南広域振興局経営企画部	0197-22-2812	http://www.pref.iwate.jp/index.rbz
岩手県	沿岸広域振興局経営企画部大船渡地域振興センター	0192-27-9911	http://www.pref.iwate.jp/index.rbz
宮城県	北部地方振興事務所栗原地域事務所商工・振興班	0228-22-2195	http://www.pref.miyagi.jp/nh-khsgsin/
宮城県	東部地方振興事務所登米地域事務所商工・振興班	0220-22-6123	http://www.pref.miyagi.jp/et-tmsgsin/
宮城県	気仙沼地方振興事務所 商工・振興班	0226-24-2593	http://www.pref.miyagi.jp/ks-tihouken/

圏域情報

◆◆◆◆ 宮城県 気仙沼地方振興事務所 ◆◆◆◆

復興進む気仙沼「内湾地区」

気仙沼市「内湾地区」は、震災による津波で壊滅的な被害を受けましたが、ここ数年復興事業の進みとともに、多くの商業施設が復活しています。

岸壁沿いに建つ「迎（ムカエル）」は、レストランやカフェが集まる商業施設。デッキからの内湾の風景は、心を和ませます。また、「気仙沼ベイクルーズ遊覧船」の船着き場が隣接し、約50分間のクルージングが楽しめます。（催行日限定はお確かめください。）



迎（ムカエル）から数分間陸側に進むと、復興商店街「南町紫神社前商店街」に到着します。商店街界限では、昼はランチ、夜も食事や肴（さかな）が楽しめる飲食店が数多く営業しています。気仙沼ならではの海鮮メニューや地酒が豊富なお店も多く、一度の訪問では回りきれないエリアです。



■お問い合わせ

気仙沼観光サイト「気仙沼さ来てけらいん」
URL : <http://kesenuma-kanko.jp/>

「平泉世界遺産祭2019」が開催されました！

「平泉世界遺産祭 2019」が7月6日（土）、7日（日）に平泉町の観自在王院跡特設会場で開催されました。

会場内のステージでは多様なパフォーマンスが披露されたほか、グルメコーナーなどが開設され、多くの来場者でにぎわいました。

このイベントは世界遺産平泉や地域の魅力を内外にPRしようと、一関、奥州、平泉の3市町と県南広域振興局、エリア内の観光商工団体が組織する世界遺産連携推進実行委員会が主催しているもので、県内及び宮城県のご当地グルメの販売や観光PRコーナー、ケータリングカーコーナーも開設されました。

会場には、世界遺産平泉PRキャラクター「ケロ平（ひら）」も登場。「ケロ平と遊ぼう！小笠原諸島PRタイム」では、「ケロ平」と世界自然遺産に登録された小笠原諸島のキャラクター「おがじろう」によるPRも行われました。



また、会場内のブースでは、ワークショップ「4コマ漫画で『ケロ平』を描こう！」が開催されました。2日間で約170名の親子連れや子供たちが、ワークショップに参加し、ケロ平を題材に楽しく4コマ漫画を描きました。製作された4コマ漫画全73作品は、ケロ

平のフェイスブックから順次発信するほか、県南各地での展示を予定しています。



特設ステージでは地元を中心とした郷土芸能の上演や、あんべ光俊さんや大沢桃子さんのミニライブ、一関祝い餅つき振舞隊のステージ等、会場に訪れた方々を沸かせていました。

気仙が誇るおいしさ抜群のトマトといちごが味わえます！

気仙が誇るおいしいトマトといちごを堪能できる気仙トマト・いちご1日観光農園が陸前高田市で開催されました。

この1日観光農園は、気仙のトマトといちごのおいしさを広くPRすることで、認知度の向上を図るとともに、消費者の拡大につなげようと大船渡地方農業振興協議会が開催し、6月16日、23日、30日の日曜日に午前の部と午後の部に分かれ、計6回開催されました。トマトといちごを自分の手で収穫するという体験要素を加えることで、小さな子どもを連れた家族が多く参加し、気仙のトマトといちごのおいしさを体感できるイベントとなりました。とれたトマトといちごはパックに詰めて家に持ち帰ることができるため、参加者はパックにたくさんのトマトといちごを詰めていました。

観光農園で栽培されているいちごは、「紅ほっぺ」という品種で、食味がよく、高糖度のいちごです。いちごは広大なビニールハウス内に点在しており、おいしそうないちごを吟味しながら、お腹一杯になるまで味わうことができます。参加者は、いちごのおいしさと甘さに舌鼓をうち、気仙のいちごを思う存分堪能していました。



次に、観光農園で栽培されているトマトは、「小鈴」と「フルティカ」という品種のミニトマトです。「小鈴」は酸味と甘味が絶妙な旨味を出しており、「フルティカ」は普通のミニトマトや「小鈴」より実が大きく皮も厚めですが、フルーツのような甘さがあります。どちらのトマトもそれぞれのおいしさがあるため、参加者はどちらのトマトを食べようか迷っている場面も見受けられました。ぜひ皆さんも食べ比べてはいかがでしょうか。

この1日観光農園は、6月で終了となりましたが、来年も開催されることが予定されています。また、このトマトといちごは気仙地域のスーパーや産直等で購入することが可能ですので、気仙地域を訪れた際は是非ご賞味ください。あまりのおいしさにリピーターになること間違いなしです。



※写真は「フルティカ」です。

■お問い合わせ先

大船渡地方農業振興協議会園芸部会事務局
(岩手県沿岸広域振興局農林部大船渡農林
振興センター農業振興課)

電話：0192-27-9914

みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期(築館工区)が開通しました

県北地域の東西を結ぶ復興支援道路として、平成 25 年度より整備を進めてきた「みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期（築館工区）」が、令和元年 6 月 9 日に開通しました。今回開通したのは、Ⅰ期区間の終点である築館東インターチェンジから国道 4 号築館バイパス交差点までの約 1.7km の区間です。



(テープカット・くす玉開披)

今回Ⅳ期（築館工区）が開通したことにより、栗原市・登米市間のアクセス向上や栗原市中心部の交通渋滞の緩和が見込まれます。また、現在整備中のⅢ期（佐沼工区）が開通すると、栗原市から石巻市までのアクセス時間が 25 分短縮されるなど、内陸部と沿岸部の移動の利便性向上が図られるとともに、本県の復興にも大いに寄与するものと期待されます。



(開通パレード)

当日は、開通に先立ち開通式典を執り行い、国会議員、県議会議員、栗原・登米両市議会議員、国関係機関の方々など、多くの皆様にご参加いただきました。式典の最後には来賓の皆様が開通パレードへ参加していただき、無事の開通を祝いました。また、開通式典に先立ち、「築館薬師太鼓奉賛会」の皆様による太鼓の演舞も披露されました。



(太鼓の演舞)

■お問い合わせ

北部土木事務所栗原地域事務所
電話：0228-22-2189

今年も地域住民主導で「ツール・ド・いちはさま 2019」が開催されます！

8月18日(日)に、栗原市一迫地区を会場にサイクリングイベント「ツール・ド・いちはさま 2019」が開催されます。

このイベントは、地域の活性化を目指して、地元住民が互いに声を掛け合い、実行委員会を立ち上げ、実施に向け検討・準備を進めてきたものです。

栗原市内外への地域の魅力発信や、このイベントを通じて地域の人たちの一層の連携強化を目指しています。2年目となる今回は、サイクリストはもちろん子供や女性も楽しめる内容が増やされています。

■開催日

令和元年8月18日(日)

■イベント内容

①ファンライド

豊かな田園が広がる平野部に加えて、花山・荒砥沢の2つのダム周辺のダイナミックな山岳部を巡る「基本コース」(約96km)と、荒砥沢ダム堰堤(えんてい)を登らない「ライトコース」(約83km)の2コースを用意しています。エイドステーションでは、休憩しながら地元の絶品ジェラートなどを楽しむことができます。

時間：午前7時スタート

スタートゴール：栗原市一迫総合支所
(栗原市一迫真坂字清水田河前5)



②栗原ひだまりマルシェ

栗原地域を中心に各地の美味しいものが集まるマルシェを、宮城県一迫商業高等学校商業研究部のプロデュースで開催します。

イワナ押し寿司、焼き鳥、ピザ、クレープなど地元名物が揃う全屋台をめぐり、お気に入り商品を見つけて下さい。

時間：午前10時～午後3時

場所：栗原市一迫総合支所駐車場
特設会場

③サイクル体験コーナー

最新の電動アシスト自転車や珍しいタンデム(二人乗り)自転車の試乗体験ができます。子供向けのキックバイク体験会やBMXショーも予定しています。

参加費・観覧料：無料

時間：午前10時～午後3時

場所：栗原市一迫総合支所駐車場
特設会場

■お問い合わせ

ツール・ド・いちはさま実行委員会事務局
(栗原市観光物産協会内)

電話：0228-25-4166

ホームページ：

<https://www.kurihara-kb.net/>



「おくのほそ道」330年ツアーが開催されました！

松尾芭蕉が「おくのほそ道」の旅で登米に一宿した日である6月27日に「芭蕉の足跡をたどるツアー」が開催されました。「浅水ふれあいセンター（浅水公民館）」が主催したこのツアーは、芭蕉の登米市行脚から330年の節目となるのを機に作製したイラストマップ「『おくのほそ道』 登米市行脚の道標」が完成したことを記念して開催されたもので、当初の募集定員20人に対して、倍以上の申し込みがあったため、7月1日にも追加でツアーが開催されました。

市内外から訪れた約30人の参加者は、「みやぎの明治村」の観光案内を20年以上務める酒井哲雄さんの案内のもと、芭蕉が一宿したとされる屋敷跡や登米市内を行脚したルート（津山町～登米町～中田町）などをたどりましました。案内の際、酒井さんは「この当時は俳句を詠む文化が一般に広まっていなかった。伊賀忍者の里である伊賀生まれの芭蕉は、東国の政情を探りに来た隠密ではないかと疑われ、伊達家一門が治める登米では歓迎されず、俳句を詠む心情になれなかったのでは。」と解説しました。また、「おくのほそ道」の中で登米市については、「心細き長沼にそふて戸伊魔（登米）といふ所に一宿して、平泉に到る」と記されています。このことについては、はすまつりが開催されている現在の長沼ではなく、「山間に流れる細長い川沿いを徒歩で渡り、登米にたどり着いた。」と解説しました。これらの他にも細かな解説を交えながら、様々な芭蕉ゆかりの地に足を運びました。

イラストマップ「『おくのほそ道』 登米市行脚の道標」はA3判カラーで作製され、登米

市登米町の観光物産センター「遠山之里」や「浅水ふれあいセンター（浅水公民館）」で無料配布しており、当事務所のホームページにも掲載しています。ぜひ、このイラストマップを使って登米市内の芭蕉の足跡をたどる旅をしてみてください。



【「庚申塔」での説明】※イラストマップ7番付近



【「奥の細道（上沼新田町）の標柱」での説明】
※イラストマップ11番付近

■お問い合わせ先

株式会社 とよま振興公社

電話：0220-52-5566

イベント情報など

◆◆◆◆ 岩手県南広域振興局 ◆◆◆◆

第42回中尊寺薪能

周囲に篝火が燃える中、喜多流の能・和泉流の狂言が披露され、眼前に幽玄の世界が展開されます。杉木立に囲まれた、古格を備えた能舞台で行われる中尊寺薪能は独特の雰囲気があり、全国各地から大勢の能楽ファンが集まります。

■日時

令和元年8月14日(水)

午後4時30分から

※雨天催行

■場所

中尊寺白山神社能舞台

■料金

[奉賛券]

S席 10,000円

A席 7,000円(当日券8,000円)

B席 4,000円(当日券5,000円)

学生席 3,000円

※S席のみ仮設屋根がかかります。

【チケット販売について】

[販売開始日]

6月3日

[プレイガイド]

一関文化センター(一関市)、奥州市文化会館(Zホール)(奥州市)、小田島書店(北上市)、川徳(盛岡市)、藤崎・仙台三越(仙台市)

[チケットぴあ]

A席自由席のみ

■お問い合わせ先・電話予約受付先

中尊寺薪能の会

電話：0191-46-2110

◆◆◆◆ 岩手県南広域振興局 ◆◆◆◆

縄文の炎・藤沢野焼祭 2019



「藤沢野焼祭」は、岩手県一関市藤沢町が全国に誇る「土と炎の祭典」です。

44回目の今年は8月10日(土)と11日(日)です。高校生の陶芸甲子園「熱陶甲子園 in Fujisawa」も同時開催します。

■日時

8月10日(土)～11日(日)

■場所

藤沢運動広場(一関市)

■お問合せ先

藤沢野焼祭実行委員会

電話：0191-63-5317

◆◆◆◆岩手県 沿岸広域振興局経営企画部
大船渡地域振興センター◆◆◆◆
初さんま・うに・アワビ・帆立・かき・ホヤ・わかめ
祭が開催されます！

初さんま・うに・アワビ・帆立・かき・ホヤ・わかめ祭では、初物さんまの炭火焼のお振る舞いが行われ、大船渡の美味しいさんまを無料で食べることができます。その他にも、うにや帆立などの大船渡が誇る海産物の販売や餅まきなどの各種イベントも行われます。

おいしい海の幸を心ゆくまで食べることができるチャンスですので、是非ご来場してみたいはいかがでしょうか。



- 開催日時
2019年8月25日(日) 8時30分～15時
- 場所
大船渡市赤崎町鳥沢 下蛸ノ浦漁港広場
- お問い合わせ先
未来蛸ノ浦実行委員会(鎌田水産株式会社内)
電話：0192-27-8470

◆◆◆◆ 宮城県東部地方振興事務所
登米地域事務所 ◆◆◆◆
長沼はすまつり開催中です！

登米市迫町の長沼で「長沼はすまつり」が開催されています。

期間中は、遊覧船に乗って、ハスの花を間近で鑑賞することができます。

鮮やかで透き通るような桃色のハスの花を見ながら、ゆったりとした時間を過ごしに、ぜひ長沼へお越しください。



- 開催期間
8月1日(木)～8月31日(土)
- 場所
兵糧山公園特設棧橋
(登米市迫町兵糧23-1)
- 湖上遊覧
時間：午前9時～午後4時まで
(最終日は正午まで)
料金：一般 800円, 小学生 500円,
4歳以上 300円
- お問い合わせ先
(一社)登米市観光物産協会
電話：0220-52-4648

◇◆◆◇ 宮城県気仙沼
地方振興事務所 ◇◆◆◇
第4回気仙沼・南三陸
初夢ビジネスプランコンテスト

気仙沼市・南三陸町の異業種交流組織「リアス・アクティブ 21」は、気仙沼・南三陸の魅力を活かすアイデアや課題を解決するアイデアを広く募集します。

日頃気仙沼・南三陸を訪れるなかで、「復興商店街を活用して〇〇をしてみたらおもしろそう」「魚介類の残さや殻を使って新商品〇〇を開発してみたら注目されそう」などの想いをカタチにしてみませんか？

これから事業展開をお考えの方をはじめ、主婦や学生など、どなたでも応募いただけますので、お気軽に御応募ください。



■募集期間

令和元年8月19日(月)～10月25日(金)

■お問い合わせ先

リアス・アクティブ 21 事務局

(宮城県気仙沼地方振興事務所地方振興部
内)

電話：0226-24-2593

URL：<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-tihouken-e/>